

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/07/25

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	36.07	-0.08
JPY/THB	0.2344	0.0021
USD/JPY	153.89	-1.70
EUR/THB	39.11	-0.13
EUR/USD	1.0840	-0.0014
USD/CNH	7.266	-0.023
SGD/THB	26.85	-0.02
AUD/THB	23.74	-0.18
USD/INR	83.72	0.02
USD Index	104.39	-0.06

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.388	-0.008
10Y (THB)	2.636	-0.002
5Y (USD)	4.172	0.009
10Y (USD)	4.284	0.033

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,415.7	8.4
WTI (Oil)	77.59	0.63
Copper	9,104.0	-62.0

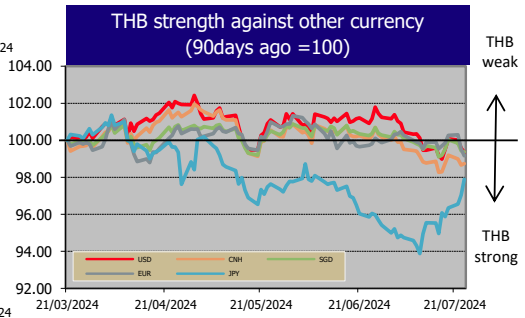
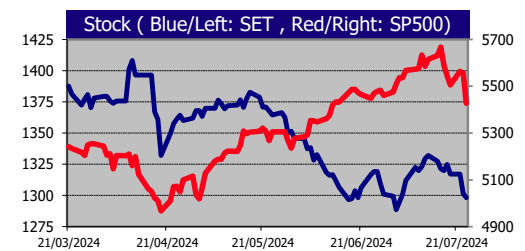
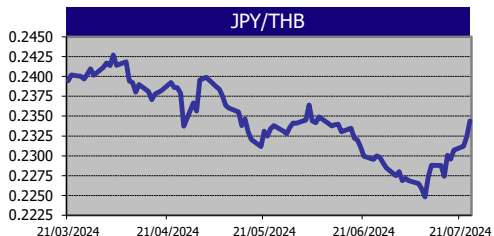
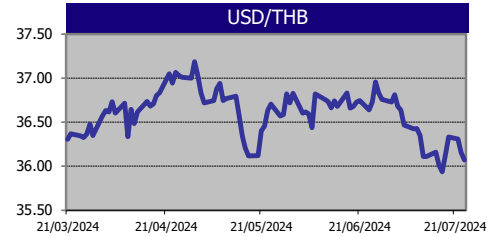
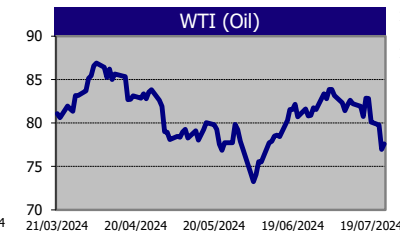
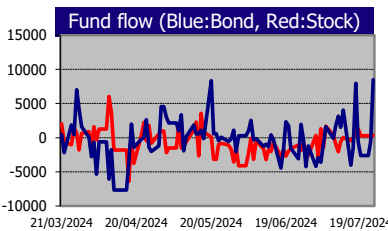
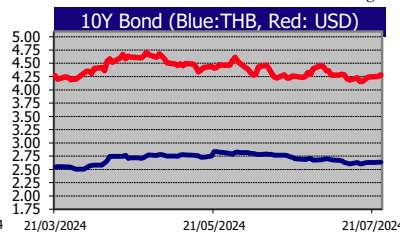
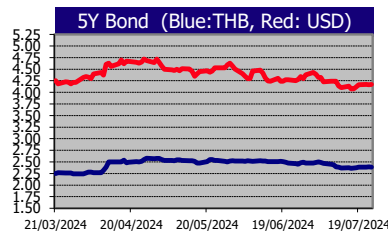
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,298.08	-3.46
NIKKEI (JP)	39,154.85	-439.54
DOW (US)	39,853.87	-504.22
S&P500 (US)	5,427.13	-128.61
SHCOMP (CN)	2,901.95	-13.42
DAX(GER)	18,387.46	-170.24

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	388	317.3
Bond net flow	8,488	9060.2

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは小幅に下落。米重要経済指標の発表と月末のFOMCを控え、バンコク時間では36パーツ前半での狭いレンジで推移。海外時間では米金利の水準に反応する動きとなった。ダトリー・前NY連銀総裁の「7月FOMCでの利下げが適切」との発言を受けて米短期金利の低下とともにドルパーツは35パーツ後半まで下落したが、その後米5年債入札の低調な結果を受けて米長期金利が急上昇し、ドルパーツも反発。終盤にかけて下げ幅をほぼ取り戻し、36.07レベルでクローズ。

●ドル円その他

昨日のドル円は下落。155円台後半でオープンした後、東京仲値にかけて小幅上昇したが、日銀会合前に円ショートポジションの巻き戻しと見られる円買いの動きが入り、155円台前半まで下落。午後は一段と円買いが強まり、154円台に突入し、海外時間へ渡った。海外時間ではポジション調整による円高基調の流れが継続。米7月サービス業PMIの予想を上回る結果が確認されるも、相場の反応は限定的。その後ダトリー・前NY連銀総裁の「7月FOMCでの利下げが適切」との発言を受けて153円台前半まで下落したが、米5年債入札が低調な結果となり、米長期金利の上昇とともに154円台まで反発。その後再び失速し、153.89レベルでクローズ。

Bangkok Dealer's Eye

今週はバイデン氏が米大統領選挙戦から撤退するとの発表が話題となったが、その後トランプ氏の勝利確率に大きな変化は見られなかったことから、市場の注目は来週開催される日米金融政策決定会合に向けられ始めた。特に日銀については、国債買入減額の決定に波乱はなさそうなものの、利上げの有無に関しては未だ予想が統一されておらず、この思惑を巡って足元の円金利や為替相場もボラティルな展開となっている。ブルームバーグが22日までにエコノミストを対象に実施した調査によると7月の利上げ予想は30%程度だったが、足元スワップ市場で観測される10bp利上げの織込み度合いは60%程度となっており、ここにきて投機筋が円ショートポジションを巻き戻す動きが鮮明となってきた。各社予想を見る限り、来週の利上げは今のところ少数派意見と言えそうだが、個人的には、為替相場が円高方向に傾き始めたことは日銀にとって寧ろ利上げしやすい地合いではないかと考える。市場が油断するタイミングでの利上げは、投機筋の更なる円買い戻しを喚起しやすい上に、今の地合いであれば周りからも円安抑制を企図したものと解釈されにくい利点がある。30日開催の会合まではまだ時間があるため今後の展開には注視が必要だが、市場の利上げ織込みが進めば素直に円高であろうし、仮に進まなくても、市場が半信半疑であるうちは円売り圧力も高まりにくいだろう。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.